トウキ 1

2 生薬の性状の項を次のように改める.

3

4

6

7

9 10

11 12 13

生薬の性状 本品は太くて短い主根から多数の根を分枝してほぼ紡錘形を呈し、長さ 10~25 cm, 外面は暗褐色~ 赤褐色で、縦じわ及び横長に隆起した多数の細根の跡がある. 根頭にわずかに葉しょうを残している. 折面は暗褐色 ~黄褐色を呈し、平らである.

本品は特異なにおいがあり、味はわずかに甘く、後にやや辛い.

本品の横切片を鏡検 $\langle 5.01 \rangle$ するとき、コルク層は $4 \sim 10$ 層からなり、その内側に数層の厚角組織がある。皮部に は分泌細胞に囲まれた多数の油道及びしばしば大きなすき間がある.皮部と木部の境界は明らかで、木部では多数の 道管と放射組織とが交互に放射状に配列し、外方の道管は単独又は数個集まってやや密に配列してくさび状を呈し、 中心部付近の道管は極めてまばらに存在する. でんぷん粒は単粒又はまれに 2~5 個の複粒で、単粒の径は 20μm 以 下,複粒は25μmに達することがある.でんぷん粒はしばしば糊化している.